

令和8年度 第1回定期理事会議事録

期 日：令和8年5月8日（金） 18：30～20：00

会 場：岩手リハビリテーション学院, オンライン

出席者：及川龍彦 佐藤英雄 武田浩二 三浦正徳 関 公輔 藤井祐輔
菊池賢汰 佐藤晋樹 及川 哲 野中一成 澤口裕樹 久野純治
藤岡 求 (理事)

欠 席：小林太志（理事・公務の為）

佐藤一浩（監事・公務の為）

書 記：菊池賢汰

報告事項

- 1, 会長行動報告（及川龍彦）
- 2, 部門代表理事業務報告（佐藤英雄・武田浩二・三浦正徳・藤井祐輔・菊池賢汰）
- 3, 第13回リハビリテーションを考える議員連盟総会（及川龍彦）
- 4, 各種面会報告（菊池賢汰）
- 5, 協会関連事業派遣報告（菊池賢汰）
- 6, 士会承認セミナー・症例検討会報告（菊池賢汰）
- 7, 会員異動状況報告（菊池賢汰）
- 8, 事務部業務報告（菊池賢汰）
- 9, いわてリハビリテーションマップリニューアル公開報告（小林太志）
- 10, 岩手県理学療法士会ニュース No.88 発刊報告（菊池賢汰）
- 11, 各種派遣報告（武田浩二）
- 12, 協賛・後援事業報告（武田浩二）
- 13, 運動教室実施報告（野中一成）
- 14, 岩手産業保健総合支援センター関連事業報告（澤口裕樹）
- 15, 学術・教育系事業部会議報告（藤井祐輔・久野純治）
- 16, 第26回岩手県理学療法学会大会進捗（久野純治）
- 17, 教育推進支援課会員管理システム権限申請追加に関して（藤岡求）
- 18, 協会指定管理者研修（初級）開催報告（関公輔）
- 19, 指定管理者フォローアップ研修会開催事業（関公輔）
- 20, 組織強化部職能人材育成係構成員追加に関して（藤岡求）
- 21, 認定スクールトレーナー情報交換会開催報告（藤岡求）
- 22, 支部活動報告（佐藤晋樹）
- 23, 令和7年度推進リーダー導入研修開催報告（武田浩二）
- 24, 岩手県リハビリテーション専門職協議会報告（及川龍彦）

- 25, 訪問リハビリテーション振興財団支援報告（及川龍彦）
- 26, 政治活動報告（及川龍彦）
- 27, いわて摂食嚥下リハビリテーション研究会第3回幹事会出席（藤岡求）

協議事項

第1号議案「第50回定時社員総会議案」承認の件

及川会長より、下記日程にて開催予定の第50回定時社員総会における議案について、精査の上、承認いただきたい旨が説明された。

第50回定時社員総会

日時 令和8年6月21日（日）14：20～15：50

会場 キオクシアアイーナ

- 予定議案 第1号議案「令和7年度事業報告」承認の件
- 第2号議案「令和7年度収支決算報告」承認の件
- 第3号議案「監査報告」承認の件
- 第4号議案「令和8・9年度選挙管理委員」承認の件
- 第5号議案「退任に伴う残任期間の監事」承認の件
- 第6号議案「会費規定（案）」承認の件
- 第7号議案「定款変更（案）」承認の件

上記について、質問意見なく、全会一致で承認された。

第2号議案「令和7年度事業報告」承認の件

第3号議案「令和7年度収支決算報告」承認の件

及川会長より、第2号議案ならびに第3号議案は一括審議とする旨が説明された。また令和7年度事業総括について、以下の通り説明された。

- ①令和2年以降続いてきた新型コロナウイルスの影響が最小限となり、事業を計画通りに実施することができた。一方、県民の要請と会員の皆さんへの福利充実を目的に令和6年度に実施した組織改編の影響を受け、所管や担当変更、事業形態の組み替えがなされたことにより、各担当の立場からすると新規事業となるケースも散見され、手探りの事業展開となるとともに網羅する領域が拡大していった年度であった。

- ②産業保健分野では盛岡市役所との協同事業により職場での健康維持に寄与でき、女性交流事業は多職種を交えた催事として好評を得た。また公益社団法人岩手県看護協会、公益社団法人岩手県栄養士会、一般社団法人岩手県作業療法士会と協同して行った「令和7年度訪問看護総合支援事業における県民公開講座」を筆頭に、関係団体との協力体制を強固とすることができた。併せて、「岩手リハビリテーションマップ」はインターフェースとシステムの刷新を図り、県民の皆様が利用しやすいものになるよう工夫した。
- ③公益性の高い事業として、従来から行われてきた予防事業とメディカルサポート、一昨年から力を入れている産業理学療法士の3つを軸に事業を展開してきた。メディカルサポートにおいては高校球児への対応のみならず、一関、水沢で開催された市民マラソンへのサポートへと拡大しており、野球関連では中高生を対象とした普及振興事業への会員派遣も特筆できる。また産業分野ではこれまで展開していた岩手県産業保健総合支援センターへの協力範囲が拡大するとともに、盛岡市役所職員の職場健康維持協力にも独自の展開を進めている。
- ④学術・教育事業については、当初計画された研修会を全て実施できた。特に本年度が更新年となる登録理学療法士については、多くの会員が更新できるよう令和7年度から力を入れてきたが、本年度においても更なる支援を進める予定である。岩手県が進めているシルバーリハビリ体操指導士育成については、本会としても地域指導者の相談対応や後方支援を進めるため、講習会開催機関の協力を得て視察者の派遣を行なっている。
- ⑤近年における会員の皆さんを取り巻く環境は厳しくなっており、公務と本務、プライベートのバランスを維持することが難しくなっていることは本会としても認識しているところである。今後は、会員の皆さんが活動しやすい環境を模索するとともに、その維持にも努力して行きたいと考えている。また令和7年度は第27回参議院議員通常選挙が行われたが、組織代表である田中昌史氏は大幅に票を落とし落選となった。幸いにも第51回衆議院議員選挙において比例代表による当選を果たしたことは安堵したが、この業界を守っていくためにはより政治への意識を高めてゆかねばならず、本会としても今後の課題と考えている。また登録理学療法士更新を含め、昨今における事業展開は複数年単位で捉える必要があるため、長期的視野にたった観点が重要と考えている。

上記を踏まえ、令和8年度においては、

- 1、県民ニーズや課題へのサービス充足を目指した事業
- 2、登録理学療法士更新に向けた会員サポート事業
- 3、職能推進に向けた会員サポート事業
- 4、会員活動とプライベートの充実を平行するための対応模索

5、複数年度における計画的事業展開

を軸に、公益社団法人日本理学療法士協会その他の団体と協力のもと、事業展開したいと考えている。

次に菊池事務部長より、令和7年度事業報告について資料の通り説明された。併せて、令和7年度収支決算について、以下の通り説明された。

○事業活動収入

会費収入 収支決算額 13,188,000 円 収支予算額 13,110,000 円 差額 78,000 円

事業収入 収支決算額 897,000 円 収支予算額 895,000 円 差額 2,000 円

事業活動収入計 収支決算額 16,750,428 円 収支予算額 17,125,000 円

差額 ▲374,572 円

○事業活動支出

事業費支出 収支決算額 6,894,779 円 収支予算額 8,246,000 円 差額 ▲1,351,221 円

管理費支出 収支決算額 7,406,328 円 収支予算額 7,950,000 円 差額 ▲543,672 円

事業活動支出計 収支決算額 14,301,107 円 収支予算額 16,196,000 円

差額 ▲1,894,893 円

○事業活動収支差額

収支決算額 2,449,321 円 収支予算額 929,000 円 差額 1,520,321 円

○投資活動収支差額

▲467,198 円

○当期収支差額

1,982,123 円

○前期繰越収支差額

18,740,013 円

○次期繰越額

20,722,136 円

以上の説明に対して、以下の通り質疑がなされた。

- ・収支予算額と収支決算額に開きがあるように感じる。
→決算額については修正できないが、今後は各所管において事業を立案する段階で
予算を厳密に検討する必要がある。(及川会長)

また先の組織運営協議会において、会員より研修会等への参加者数を事業報告時に掲載してほしいといった希望があったことから、今回より菊池事務部長が対応することとなった。その他質問意見等なく、全会一致で承認された。

第4号議案「令和8年度収支予算(案)」承認の件

及川会長より、令和8年度集予算の修正案を作成したため、精査の上承認いただきたい旨が説明された。詳細については菊池事務部長より、以下の通り説明された。

○事業活動収入

会費収入 13,230,000 円
事業収入 870,000 円
事業活動収入計 16,670,000 円

○事業活動支出

事業費支出 7,752,000 円
管理費支出 8,190,000 円
事業活動支出計 15,942,000 円

○事業活動収支差額

728,000 円

○投資活動収支差額

▲460,000 円

○当期収支差額

68,000 円

○前期繰越収支差額

20,722,136 円

○次期繰越額

20,790,136 円

以上の説明をもとに再協議をした結果、以下について修正を加えることとなった。

①前年度実績に基づき、事業費支出の会議費「680,000 円」から「80,000 円」に減額

②前年度理事会決定事項と申請状況を鑑み、事業費支出の役務費「20,000 円」から上記減額分の「600,000 円」と当期収支差額「68,000 円」を追加し「688,000 円」へ増額

上記について財務課長へ修正を依頼し、①修正可能な場合は補正案を定時社員総会へ提出、②修正困難な場合は原案を定時社員総会へ提出し後日補正を加える旨を説明、の 2 点について承認が求められ、全会一致で承認された。

第 5 号議案「保険契約会社」承認の件

菊池事務部長より、次年度事業実施に伴う保険契約について、以下の会社と契約を結んで良いか、各理事の利益相談関係を確認の上、承認いただきたい旨が説明された。

名称	保険会社	代理店
国内旅行保険	日新火災海上保険株式会社	東北永愛友商事岩手盛岡支店
賠償責任保険	東京海上日動火災保険株式会社	東京海上日動パートナーズ 岩手盛岡営業所

以上の説明に対して、質問意見等なく、全会一致で承認された。

第 6 号議案「第 6 4 回日本理学療法学会学術研修大会立候補可否」承認の件

菊池事務部長より、日本理学療法士協会より第 6 4 回日本理学療法学会学術研修大会開催立候補に関する周知文書が届いたため、立候補可否について承認いただきたい旨が説明された。本議案については、全国の会員が参集するための会場が確保ならびに東北理学療法学会大会担当年に該当することから、立候補を見送ることについて全会一致で承認が得られた。

第7号議案「研修広告周知可否」承認の件

菊池事務部長より、研修会開催に伴う周知依頼があった旨が説明された。本件は前例のない依頼元であり、詳細情報が少ないことから審議の上、会員への周知可否について承認いただきたい旨が説明された。

依頼元 スターティングアゲイン
 スタビリティ研究会

代表 山本泰三

研修内容 Redcode 各種コース

以上の説明に対して、以下の通り質疑がなされた。

- ・チラシの内容を確認する限り、本会 HP に掲載する必要はない研修会と考える
- ・掲載は見送った方がよい。この内容を掲載することにより、同水準の依頼が増える恐れがある。
- ・協会の生涯学習とつながりがない案件のため、掲載する必要はないのではないか。
- ・掲載の上、受講するかどうかは会員の判断という考えもあるのではないか。
- ・この類の研修会について、本会会員には提出書類を課しているのに対し、無料で掲載するのはいかがなものか。せめて、掲載するのであれば本会会員にお願いしている条件と同様にする必要はある。（及川会長）

以上の質疑をもとに、本件については掲載を見送ることについて全会一致で承認された。なお、理事会の協議結果については、菊池事務部長から依頼元へ連絡する方針となった。